（一社）東実空連第 27048 号
平成 27 年 12 月 1 日

団体会員　各位
個人会員　各位

一般社団法人
東日本実業団空手道連盟
会　長　保　坂　三　藏

平成 28 年度日本体育協会公認アスレティックトレーナー養成講習会新規受講希望者の推薦について（通知）

時下、日頃より、当連盟へのご協力を賜り、心より深く感謝申し上げます。

さて、全実空連第 2753 号に基づき、平成 28 年度日本体育協会公認アスレティックトレーナー養成講習会新規受講希望者の推薦ついて、案内がございました。

この資格は、将来スポーツトレーナーの目指す方には、羨望の資格であり、海外遠征への帯同等の道も開ける資格です。　つきましては、開催要項を熟読し、傘下会員に周知の上、受講希望者は、推薦手続きを致しますので、お申込下さい。

なお、全空連での推薦者枠が寡少の為、希望者多数の場合は、推薦内容及び受講希望経歴書を厳格審査の上、決定されますので、予めご了承ください。

記

1．書類提出期限：　平成 28 年 1 月 15 日（金）　必着

2．申込方法：　別添の「受講希望者経歴書」に必要事項を漏れなく記入してください。
経歴書は、Ａ３版をＡ４版に縮小した電子 File になっております。
Ａ４版での送付の場合は、電子データでお願い致します。
郵送の場合は、Ａ３用紙にして、送付願います。

※ 各団体の代表者は、受講希望者の推薦理由をメモ書きで構いませんので、一筆添えて下さい。

3．書類送付先：

〒252-0216
神奈川県相模原市中央区清新 2-14-3-302
（一社）東日本実業団空手道連盟　総務部長　宮川幸二　宛
携帯：０９０－６５４３－１７６７
Mail：ejbkf-office@wkf.jp
miyakawa@nss-ms.jp

※ 当連盟にて受講希望者推薦書を作成し、纏めて全日本実業団空手道連盟に申請致しますので、直接、全日本実業団空手道連盟に申込をしないで下さい。

4．その他事項：

別添通知及び開催要項等を熟読の事。

全実空連第２７５３号
平成２７年１２月１日

東日本実業団空手道連盟
西日本実業団空手道連盟　理事長　殿
全自衛隊空手道連盟

全日本実業団空手道連盟
理事長　　矢内　　誠

平成２８年度日本体育協会公認アスレティックトレーナー
養成講習会新規受講希望者の推薦について

全日本空手道連盟から日体協公認アスレチックトレーナー養成講習会開催の案内がありました。

つきましては、開催要項等をご確認のうえ、貴連盟にてトレーナーとして密接に協力でき且つ継続的に活動のできる方をご推薦願います。

なお、全空連での推薦者枠が寡少のため、希望者多数の場合は、推薦内容及び受講希望経歴書を厳格審査のうえ決定いたしますので、ご了承下さい。

記

１．関係書類
（１）開催要項
（２）受講者の選考について（所定の要件があるので確認して下さい）
（３）受講の流れ
（４）共通科目日程表

２．推薦書類
（１）受講希望者推薦書（各連盟で記載する）
（２）受講希望者経歴書（A3 版用紙をA4 版に縮小しております。A4 用紙でのご送付はデータで、郵送の場合はA3 用紙にしてご送付ください。）

３．提出方法
推薦書、経歴書の提出は、**平成２８年１月３１日（日）必着**とします。

〒277-0065　千葉県柏市光ヶ丘２丁目６番１８号
全日本実業団空手道連盟事務局　渡邊　　博
携帯　090-+9852-2686
Ｅ－mail　：　ａｊｂｋｆ＠ｗｋｆ．ｊｐ

東日本大震災復興支援
「とどけよう　スポーツの力を東北へ！」

平成28年度日本体育協会公認アスレティックトレーナー養成講習会
開催要項

１．目　　的

日本体育協会（以下、「本会」という）公認スポーツ指導者制度に基づき、本会公認スポーツドクター及び公認コーチとの緊密な協力のもとに、競技者の健康管理、外傷・障害予防、スポーツ外傷・障害の救急処置、アスレティックリハビリテーション及びトレーニング、コンディショニング等を担当する公認アスレティックトレーナーを養成する。

２．主　　催　公益財団法人　日本体育協会

３．カリキュラム

（１）共通科目（152.5時間：集合講習及び自宅学習）

※公認スポーツ指導者養成講習会共通科目Ⅰ+Ⅱ+Ⅲ

1）文化としてのスポーツ	3.75h	11）スポーツの心理Ⅰ	7.5h
2）指導者の役割Ⅰ	5h	12）スポーツ組織の運営と事業	10h
3）トレーニング論Ⅰ	3.75h	13）対象に合わせたスポーツ指導	7.5h
4）スポーツ指導者に必要な医学的知識Ⅰ	7.5h	14）指導者の役割Ⅱ	7.5h
5）スポーツと栄養	2.5h	15）アスリートの栄養・食事	5h
6）指導計画と安全管理	3.75h	16）スポーツの心理Ⅱ	10h
7）ジュニア期とスポーツ	5h	17）身体のしくみと働き	10h
8）地域におけるスポーツ振興	3.75h	18）トレーニング論Ⅱ	20h
9）社会の中のスポーツ	5h	19）競技者育成のための指導法	10h
10）スポーツと法	5h	20）スポーツ指導者に必要な医学的知識Ⅱ	20h

（２）専門科目（600時間：集合講習及び自宅学習）

1）アスレティックトレーナーの役割	30h
2）スポーツ科学	120h
3）運動器の解剖と機能	60h
4）スポーツ外傷・障害の基礎知識	60h
5）健康管理とスポーツ医学（ドーピングコントロール含む）	30h
6）検査・測定と評価	60h
7）予防とコンディショニング	90h
8）アスレティックリハビリテーション	90h
9）救急処置（各自赤十字救急法救急員の資格を別に取得する）	30h
10）スポーツと栄養	30h

（3）現場実習（180 時間）

1）見学実習	30h
2）検査・測定と評価実習、アスレティックリハビリテーションプログラム作成実習	30h
3）スポーツ現場実習	30h
4）アスレティックリハビリテーション実習	30h
5）総合実習	60h

4．実施方法

（1）共通科目

・集合講習：平成 28 年 7 月から 11 月にかけて、5 日間で実施する。

・自宅学習：集合講習受講前の 3 か月間程度

（2）専門科目

・集合講習会：以下の日程で行うが、開催期日・会場については詳細が決まり次第連絡する。

※ 集合講習会は、必ず 1 期～5 期の順で受講しなければいけない。

1 期（2 日間：13 時間）　平成 28 年 10 月～11 月

2 期（4 日間：29.5 時間）平成 29 年 1 月～2 月

3 期（5 日間：37 時間）　平成 29 年 5 月～6 月

4 期（6 日間：51 時間）　平成 29 年 8 月～9 月

5 期（6 日間：46.5 時間）平成 29 年 10 月～11 月

※ 4 期講習会受講前に日本赤十字社の救急法救急員養成講習を受講し、検定試験に合格の上、有効期限内の認定証を必ず提出しなければならない。

※ 自宅学習：各自でテキストおよびテキストワークブックを中心に行う

5．受 講 者

（1）受講条件

受講する年の 4 月 1 日現在、満 20 歳以上の者で、本会あるいは本会加盟団体（都道府県体育・スポーツ協会、中央競技団体等）または本会が特に認める国内統轄競技団体から推薦された者。

（2）受講者数

100 名以内とする。

6．受講申込み

受講希望者は所定の受講希望者経歴書に必要事項を記載し、本会加盟団体等に提出する。

推薦団体は、受講者推薦書を作成し本人が記載した受講希望者経歴書とともに本会へ提出する。

７．受 講 料　91,800 円（消費税込：受講内定時に徴収）
＜内訳＞　・共通科目：　19,440 円
・専門科目：　72,360 円
※免除･資格審査料等については別に定める。
※実技試験受験料については受験 1 回ごとに別途 32,400 円を徴収する。
詳細は検定試験実施要項で定める。

８．受講者の決定
（１）各団体から提出された受講者推薦書並びに受講希望者経歴書に基づき、本会指導者育成専門委員会アスレティックトレーナー部会において活動実績等を審査の上、受講者を内定し、推薦団体及び本人宛通知する（内定通知）。
（２）受講内定者は、所定の受講申込書に必要事項を記入し、受講料を本会に納める。
（３）本会において受講料の入金を確認した後、受講者として決定する（受講決定通知）。

９．講習･試験の免除
既存資格及び本会免除適応コースの履修等により、講習･試験の一部または全部を免除することができる。免除に関する詳細は別に定める。なお、養成講習会受講者は現場実習を免除する。

10．検定試験･審査
（１）共通科目は理論試験、専門科目は理論試験及び実技試験とし、それぞれ講習終了後に実施する。
（２）共通科目における検定試験は、理論試験の得点による判定とし、本会において審査する。
（３）専門科目における検定試験は、専門科目講習会を全て受講し、本会の定める救急処置に関する資格を取得している者が受験できる。
（４）専門科目における検定試験は、理論試験、実技試験の総合判定とし、本会において審査する。但し、実技試験は理論試験に合格した者が受験することができる。
（５）共通科目及び専門科目の全ての検定試験に合格した者を「本会公認アスレティックトレーナー養成講習会修了者」として認める。

11．登録及び認定
（１）共通科目及び専門科目の検定に合格した者に修了通知を送付し、その後、指導者登録（登録料の納入）を完了した者に、本会公認アスレティックトレーナー「認定証」及び「登録証」を交付する。
（２）資格の有効期限は、4 年間とし 4 年毎に更新する。ただし、認定される資格以外に本会公認スポーツ指導者資格を有している場合は、その登録有効期限までとする（ス

ポーツリーダーは除く）。本資格を更新しようとする者は、資格有効期限の 6 か月前までに、本会が定める研修を受講するとともに、研修受講時に一次救命処置（心肺蘇生法並びに AED）に関する資格認定証を提示しなければならない。

12. 注意事項

（1）受講有効期限は、原則として受講開始年度を含め共通科目理論試験及び専門科目理論試験合格まで 5 年間とし、最終年度の 3 月 31 日までとする。また、専門科目実技試験は専門科目理論試験に合格した後、受講有効期限に関らず 2 回受験することができる。

なお、受講有効期限内に共通科目及び専門科目理論試験を修了しない場合は、その時点で受講者としての権利をすべて喪失する。

（2）本講習会受講に際し取得した個人情報は、本講習会受講者の管理及び諸連絡以外には使用しないものとする。

（3）本講習会の受講有効期限内に他の本会公認資格の受講はできないため注意すること。また、他の本会公認資格を受講中の場合も受講申込はできないため注意すること。

（4）受講者の推薦に際しては、各団体内の医科学委員会やアスレティックトレーナー協議会等の意見を十分に聴取した上、アスレティックトレーナーに関する担当委員会等において決定すること。

（5）同一人物が同一年度に複数の団体より推薦を受けた場合、一団体のみの推薦を審査対象とする。なお、いずれの団体からの推薦を受理するかは本会アスレティックトレーナー部会にて決定する。

（6）受講申し込みから資格取得までの概要については別紙を参照すること。

（7）講習会（共通科目・専門科目）開催にかかる経費については、原則として本会が負担するが、受講者の旅費（宿泊費含む）に関する補助は行わない。

（8）受講内定者が受講を辞退した場合、当該推薦団体から追加の内定は行わない。

（9）受講者としてふさわしくない行為があったと認められた場合は、本会の指導者育成専門委員会ならびにアスレティックトレーナー部会で審査し受講が取り消される場合がある。

フェアプレイで日本を元気に　～あくしゅ、あいさつ、ありがとう～

目指せ 100 万人のフェアプレイ宣言！WEBで好評受付中！

http://www.japan-sports.or.jp/fair/　　公益財団法人　日本体育協会

日本体育協会公認アスレティックトレーナー養成講習会受講者選考審査基準

本会公認アスレティックトレーナー（以下「JASA-AT」という）養成講習会の受講者の選考は、本会指導者育成専門委員会アスレティックトレーナー部会において、以下推薦基準を設けて選考しています。

つきましては、下記事項をご留意の上受講者を推薦いただきますようお願いいたします。

１．受講者選考基準について

受講希望者経歴書に基づき下記の要点で審査されますので、**未記入または記入内容が著しく乏しい場合は、推薦団体に確認することなく無条件で選考対象外となります**のでご注意ください。

（１）トレーナーとしてのスポーツ現場における活動実績*

①活動年数（**2 年以上の継続した実績が必要**）
②活動内容
③活動対象
④現在の活動の有無（現在の活動がない場合は選考対象外）

＊トレーナーとしてのスポーツ現場における活動実績とは、JASA-AT の役割にある「競技者の健康管理、外傷・障害予防、スポーツ外傷・障害の救急処置、アスレティックリハビリテーション、体力トレーニング、コンディショニング等」のスポーツ現場での複数の活動をいい、少なくとも 2 年以上の継続した実績があり、現在も活動していることをいう。

従って、単にトレーニング指導のみや医療従事者等が自身の生業として病院や施術所等で行う業務、一般人向けの健康指導等はこれにあたらない。

【トレーナーとしての実績とはみなさない例】

例 1）病院でスポーツ選手のリハビリテーションを担当する。
例 2）施術所でスポーツ選手の外傷治療を行う。
例 3）体力トレーニング指導の経験しかない。
例 4）フィットネスクラブで、健康・体力向上のための運動指導。

（２）推薦団体とのこれまでの関わり

①推薦団体内でのトレーナーとしての活動実績
②国民体育大会を含む国内での活動実績
③国際大会での活動実績
④推薦中央競技団体に関連した競技・種目でのトレーナー実績（中央競技団体等・プロスポーツ団体推薦者のみ該当）

（３）資格取得後の推薦団体における活用方法

①推薦団体での今後のトレーナーとしての活用方法
②推薦団体での国民体育大会や国際大会での活用方法

（4）スポーツ医・科学に関する研修会・セミナー・学会等の参加実績

①複数回の参加実績の有無（参加実績がない場合は選考対象外となります）

※参加・受講の機会が一般に開かれているものとし、私的な勉強会は選考対象外とする。

（5）現在のトレーナー活動について

①現在の活動内容

②無資格で医療類似行為をしていないかどうか

③具体的な活動内容が詳細に記入されているか

④現在トレーナーとして関わっている競技と推薦団体との関わりや活動実績に整合性があるか

⑤単に自身の生業としての業務でないか

（6）受講希望者の動機、保有資格

①熱意が感じられるか

②単に自身の生業のための資格取得ではないか

③保有している医療資格やその他トレーナー関連資格はあるか

（7）過去の受講歴

①過去の受講歴（共通科目検定試験、理論試験、実技試験の結果）

（8）留意事項

推薦にあたっては、JASA-AT に求められる役割・資質等について、ふさわしい人物を、推薦団体内のスポーツ医科学委員会やトレーナー部会、都道府県トレーナー協議会またはそれに該当する組織等において組織決定いただくか、それらの組織の意見を十分に聴取した上でご推薦いただくようお願いいたします。その際、公平性ならびに透明性が担保されるようご注意ください。

受講希望者に対しては、経歴書に**詳細かつ熱意が感じられるような記述**をするよう指示してください。

また受講者推薦書には、必ず推薦団体におけるこれまでのトレーナーとしての活動内容及び資格取得後の推薦団体での活用方法を具体的に記入してください。これまで関係がなかった場合は、今後の活用方法については特に詳細に記入してください。受講者推薦書の内容も審査の対象とし、選考を行います。

なお、同一人物が同一年度に複数の団体より推薦を受けた場合、いずれか一団体のみの推薦を審査対象といたします（審査対象外とした推薦団体の推薦者名簿から除外し、選考対象とはいたしません）。いずれの団体からの推薦を受理するかは本会アスレティックトレーナー部会にて決定いたします。重複して推薦されている団体に対してはその旨ご通知いたします。

２．推薦団体におけるアスレティックトレーナー活用状況について

① JASA-AT の活用が図られていること
② JASA-AT の養成を計画的に実施していること
③ JASA-AT が関わる組織が存在する、または将来計画があること
④ 受講者の募集、選考、決定方法がシステム化されていること
⑤ 推薦者の受講中あるいは受講後の管理監督ができること

※上記に関しましては､JASA-ATが関って活動している組織､活動状況または、活用計画（推薦団体においてトレーナー業務にかかわる資格基準が JASA-AT として義務付けされているなど）を根拠としますので資料等がございましたら添付願います。

３．推薦できる受講希望者数（推薦枠）について

各団体の推薦枠は 2 名以内とし、原則各団体の推薦順位 1 位の方 1 名を内定する方針であり、推薦いただいた 2 名とも内定するものではありません。推薦枠を 2 名としているのは、審査会にて選考の結果、受講希望者の経歴等により「推薦順位 1 位ではなく 2 位の方を受講者として内定する」ことがあるためです。また、受講希望者の経歴等により「内定者なし」となることもありますので、予めご了承ください。

3 名以上推薦された場合は 3 位以下の方は受講者審査会にはお諮りいたしません。審査会の結果についても 3 位以下の方については選考結果の連絡はいたしません。また、推薦順位がない場合（2 名とも 1 位など）も受講者審査会にはお諮りいたしませんのでご承知おき願います。

４．受講者の内定について

推薦書及び経歴書について、上記の基準をもとに審査の上、受講者を選考いたします。その後、受講希望者本人および推薦団体へ内定通知をいたします。

推薦団体によっては受講内定者がないことや、推薦順位が下位の方が受講内定者となることもありますので予めご了承ください。

なお、受講内定者が受講を辞退しても、同一推薦団体内での候補者を繰り上げて新たに内定することはできません。また、受講者内定結果に関して、推薦団体からの要望等にはお答えできません。

平成28年度 共通科目集合講習会
開催期日・会場一覧（予定）

＜共通科目Ⅱ・Ⅲ＞

会場番号	都市	期　　日	会 場 名
第 1 会場	東京	7月30日（土）～8月3日（水）	**ベルサール九段** 〒102-0073　東京都千代田区九段北1-8-10 住友不動産九段ビル3･4F ℡03-3261-5014
第 2 会場		8月18日（木）～8月22日（月）	**ベルサール神田** 〒101-0053 東京都千代田区神田美土町7 住友不動産神田ビル2F ℡03-5281-3053
第 3 会場		9月28日（水）～10月2日（日）	**ベルサール神保町アネックス** 〒101-0051　東京都千代田区神田神保町2-36-1 住友不動産千代田ファーストウイング1F ℡03-3346-1396
第 4 会場		10月29日（土）～11月2日（水）	**KFCホール** 〒136-0075　東京都墨田区横網1-6-1 ℡03-5610-5801
第 5 会場	名古屋	11月17日（木）～11月21日（月）	**TKP名古屋駅前カンファレンスセンター** 〒450-0002 愛知県名古屋市 中村区名駅2-41-5 CK名駅前ビル ℡052-569-5020
第 6 会場	大阪	8月6日（土）～10日（水）	**ホテル新大阪コンファレンスセンター** **（旧チサンホテル新大阪）** 〒532－0011　大阪府大阪市淀川区西中島6-2-19 ℡06-6302-5571
第 7 会場		9月10日（土）～9月14日（水）	
第 8 会場		10月5日（水）～10月9日（日）	
第 9 会場	福岡	7月20日（水）～24日（日）	**TKPガーデンシティ博多** 〒812-0011　福岡県福岡市博多区博多駅前3-4-8 サットンホテル博多シティ5階 ℡092-474-5145
第 10 会場		10月21日（金）～10月25日（火）	**TKP博多駅前シティセンター** 〒812-0011　福岡県福岡市博多区博多駅前3-2-1 日本生命博多駅前ビル8F ℡092-433-2833

※専門科目講習会の日程と重複しないようにご注意ください。

受講の流れ（予定）

1. 受講者の募集から決定まで

受講者の募集
- 本会加盟団体
- 本会が特に認める国内統括競技団体
  ※上記団体を通じて受講者を募集する。

→

受講者の内定
- 各団体から推薦のあった受講申込者を、本会で審査し、受講者を内定（4月下旬）
- 内定者に『内定通知』と『受講の手引き』を送付

→

受講内定者
- 受講内定者は下記関係書類を整え、までに本会へ送付（5月下旬）

受講申込書
免除申請書類（該当者のみ）／受講料納入

→

受講者の決定
- 本会より下記関係書類を送付（6月中旬）

受講決定通知／受講者カード／
共通科目受講会場通知
テキスト、ワークブック（共通・専門）

2. 講習会の流れ

受講有効期限内（5年間）に共通科目講習会、専門科目講習会を受講し、専門科目検定会を受験して下さい（共通科目、専門科目の順は問いません）.

＜共通科目講習会＞

①自宅学習
- 共通科目Ⅰ、Ⅱと共通科目Ⅲの一部を自宅学習する

⇒

②共通科目講習会
- 40時間、5日間
- 全国3地区10会場で開催
- 7月～11月

⇒

③共通科目検定試験
- 理論試験200問（6割合格）
- 全国5地区で開催
- 2月、3月、5月のいずれか

＜専門科目講習会＞ ※1期 →2期 →3期→4期→5期の順で受講し、受験すること

① 専門科目1期講習会
- 12.5時間、2日間
- 1会場で開催
- 平成28年11月12日（土）～13日（日）（予定）
- 1期講習会を受講しない場合は、2期講習会を受講できない。

⇒

② 専門科目2期講習会
- 29時間、4日間
- 1会場で開催
- 平成29年1月～2月（予定）
- 2期講習会を受講しない場合は、3期講習会を受講できない。

⇒

③ 専門科目3期講習会
- 37時間、5日間
- 1会場で開催
- 平成29年5月～6月（予定）
- 3期講習会を受講しない場合は、4期講習会を受講できない。

⇒

④ 専門科目4期講習会
- 56時間、7日間
- 1会場で開催
- 平成29年8月～9月（予定）
- 4期講習会を受講しない場合は、5期講習会を受講できない。

※日本赤十字社「救急法救急員養成講習会」認定証取得者のみ受講できる

⇒

⑤ 専門科目5期講習会
- 58時間、7日間
- 1会場で開催
- 平成29年10～11月（予定）
- 5期講習会を受講しない場合は、専門科目検定試験を受験できない。

＜専門科目検定試験＞ ※専門科目講習会をすべて受講したものが受験できる。

①理論試験
- 平成28年11月中旬～下旬（予定）
- 理論（200問のマークシート式）

※理論試験に合格しなければ実技試験を受験できない。

⇒

②実技試験
- 平成30年2月下旬～3月下旬（予定）
- 全国2地区で実施

※理論試験合格までの有効期限は5年間とする。

※受験料：30,00円+消費税（1回につき）
※実技試験の受験機会は有効期限に関わらず2回とする。

3. 成績結果から修了・登録まで

成績結果
- 本会より各受講者に通知。ただし、共通科目、専門科目いずれも受験していない受講者には通知しない。

⇒

共通・専門科目修了者
- 登録手続きに関する資料等を送付

⇒

登録申請
- 登録申請カードに登録料（23,000円）を添えて本会に登録手続きをする。

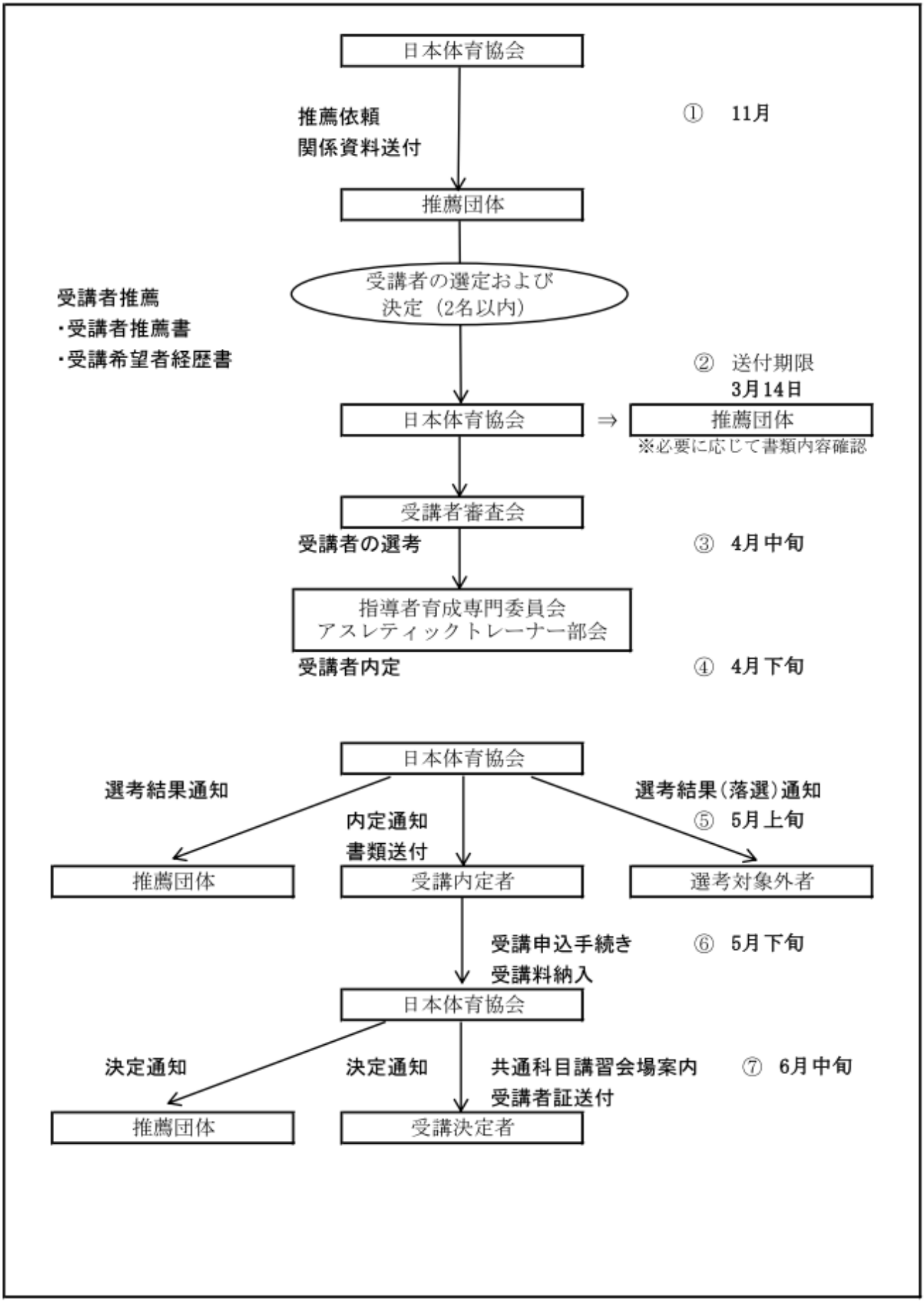
⇒

登録認定
- 本会より認定証、登録証を送付
- 登録は4年毎に更新

※更新登録料20,000円
※資格を更新するためには定められた義務研修およびCPR＋AED講習を受講しなければならない

未修了者
- 結果通知を送付
- 再試験の案内

平成28年度公認アスレティックトレーナー養成講習会
受講者推薦に係る事務手続きスケジュール



日本体育協会公認アスレティックトレーナー養成講習会
受講希望者経歴書

フリガナ		性　別	生年月日（年齢）
氏　名		男 ・ 女	年　月　日（満　歳） ※西暦で記入
現住所	〒 自宅TEL　（　）		携帯TEL
勤務先及び住所	＜勤務先名＞ 〒 TEL　（　）		
卒業校			
受講の動機 ※詳細に記入されていない場合は、選考対象外となります。			

過去の受講歴	以前の受講番号/推薦団体	前回の受講状況
	受講番号	共通科目：講習会未受講 ・ 試験未修了 ・ 試験修了 ・ 免除 専門科目：
	推薦団体	（　）期まで受講 ・ 講習会全期修了 ・ 理論試験未修了 理論試験合格（合格証No.　） ・ 実技試験2回不合格

※以前受講歴がある方は、共通科目、専門科目の受講状況に該当する箇所に〇印を記入してください。

■ これまでのトレーナー活動についてお答えください（※継続して2年以上必要とし、現在の活動まで記入）

トレーナー活動経歴	活動期間	活動の対象と役職	活動場所（医療機関は除く）	活動頻度と内容
	記入例　※記入例に習い詳細に記入すること。記入の際は「記入例」を消すこと。 ※記入しきれない場合は、「別紙に記入」と記し、A4用紙にまとめて記入・添付しても可。			
	2008年4月～2012年3月	競泳ナショナルチーム 帯同トレーナー	JISS、北京五輪競泳会場 東京辰巳国際水泳場	2週間の強化合宿に年3回、計15回帯同 世界選手権、ﾊﾟﾝﾊﾟｼﾌｨｯｸ水泳に計4回帯同 ｺﾝﾃﾞｨｼｮﾆﾝｸﾞ及びﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ指導、ｱｽﾘﾊ指導
	2012年4月～現在	○○自動車ラグビーチーム 専属トレーナー	左記チーム練習場 トップリーグ試合会場	週6日の練習で活動、試合年間20試合帯同 救急処置、ｱｽﾘﾊ、ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ指導、ﾃｰﾋﾟﾝｸﾞ
※詳細に記入すること ※現在の活動がない場合、2年未満の場合、医療機関での自身の生業としての業務は選考対象外となります				

※本講習会受講希望者推薦に際し取得した個人情報は、選考結果通知等諸連絡以外は使用いたしません。

推薦団体名		推薦順位	位

※都道府県体育協会、中央競技団体、日本障がい者スポーツ協会、プロスポーツ団体のいずれかを推薦団体がご記入ください。
※都道府県競技団名を記入した場合は受け付けません。

スポーツ医・科学、トレーナー等に関する研修会・学会等の複数の参加実績 ※未記入の場合、詳細に記入されていない場合、私的な勉強会は選考対象外となります。	研修会名	期　日	場　所	主な研修内容

■ 現在のトレーナー活動について具体的にお答えください

Q1：あなたの現在のトレーナー活動は下記のうちどれにあてはまりますか。該当する番号に△印をつけてください（複数回答可）。なお、特に中心として行っているものにはその番号に〇印をつけてください。

1. 外傷・障害の予防　2. 救急処置　3. アスレティックリハビリテーション
4. コンディショニング指導　5. トレーニング指導　6. テーピング　7. 健康管理
8. 鍼灸　9. 物理療法　10. マッサージ

11. その他具体的に（　）

※8、9、10は該当の医療資格をお持ちの方で当てはまる場合に〇印をつけるようにしてください。

Q2 ：上記で回答のあったトレーナー活動の具体的な内容についてご記入ください。

Q3 ：現在、あなたがトレーナーとして中心的に携わっている競技（種目）についてご記入ください。
（複数競技可。『球技系』、『格闘技系』等でも可）

■下記事項で該当する箇所がありましたら、ご記入ください。
※理学療法士、鍼師、灸師、あん摩マッサージ指圧師、柔道整復師、NATA-ATC、CATC、保健体育教員免許、日赤救急法救急員他

トレーナーに関連する保有資格	資　格　名	認定番号	認定団体

JOC医学スタッフ歴	JOCからの委嘱期間	医学スタッフ役職名
	年　月　～　年　月	

※保有資格の認定番号、認定団体名は必ずご記入ください。